

稚内市少年自然の家主催事業 第1回自然クラブ

「春の息吹と友達になる集い」

実施日 5月25日～26日

5月25日に稚内少年自然の家で第1回目の自然クラブを行いました。参加者は自然クラブ員45名、一般参加者7名、計52名で行いました。開会式終了後バスに乗り、メグマ浜まで移動し、海岸線から空港の前を通り動物ふれあいランド周辺まで散策を行いました。

メグマ浜では、2日目に行う創作活動で使う材料を拾い集めました。海岸には流木や貝殻だけではなく、冷蔵庫やドラム缶、外国製のビン等が流れ着いていて子供たちは驚いていました。

メグマ浜を散策した後は自然の家に戻り食堂で夕食をとり、その後は体育館で、稚内北星学園大学ボランティアサークル「こがくぼ」による仲間づくりゲームを行いました。仲間と協力しないと助けられない「バナナ鬼」や、子ども達のグループを作る「来るなら、来い」というゲームを行いました。参加者のアンケートにも「いろいろな友達ができてよかった」という意見が多くありました。



メグマ浜を歩こう

13:30～16:30



仲間作りゲーム

19:00～20:00

2日目は朝ラジオ体操したあと、食堂で朝食を食べました。朝食後は荷物整理、部屋の点検を行いプレールームで創作活動を行いました。前日に拾った貝や流木などを使って写真立てや自分の思い思いの作品作りをしました。

創作活動の後は、自然の家の裏庭に出て、種イモやかぼちゃの苗を植えました。あまり畑が広くなく全員が体験することはできませんでしたが、秋の収穫を楽しみにしていました。

野菜の苗を植えた後は、自然の家に戻りアンケートと文集用の作文を記入しました。子どもたちの意見としては、魚釣りや海遊び、キャンプ活動が自然クラブで今後やってみたいことの項目で主に記入されていました。その後閉会式を行い第1回目の自然クラブは終了しました。



集めた素材で作品を作ろう 9:00~10:30



野菜の苗を植えよう 10:40~11:10